

## Seminar on Mechanical Engineering

2 units (selection)

Hideo Nishino · ASSOCIATE PROFESSOR / MECHANICAL SCIENCE, DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

**Target** 各種機械技術に関する開発の歴史について正しく認識することを通して、今後の新しい物作りのあるべき姿について理解を深めることを目的とする。併せてプレゼンテーション能力、資料作成能力のレベルアップを目指す。

**Outline** いろいろな機械技術の歴史を学生が自ら調査して報告しその成果をまとめる。自分の設定した技術について、図書館の書籍またインターネットなどで調べ、その技術が、いつ、誰によって、どのような目的で、どのような経過で開発されたか、すなわち、その技術のルーツを探り、またそれが改良?発展してきた過程を調査する。この調査を通してものづくりの考え方や創造の方法を学ぶ。

**Keyword** *presentation, the Internet*

**Requirement** 特になし。

**Notice** 講義時間以外の空いた時間も利用して調査を行う。

**Goal**

1. 機械技術の歴史を正しく理解する。
2. 報告書の書き方、報告の仕方をマスターする。

**Schedule**

1. 授業の概要説明
2. 調査方法の説明とインターネットによる実習
3. 報告書の作成方法の説明
4. プレゼンテーション手法の説明
5. 調査課題の選択
6. 調査
7. 調査
8. 調査
9. 中間調査報告会
10. 調査
11. 調査
12. 調査
13. 調査
14. 調査報告書の作製
15. 調査報告書の作製
16. 最終調査報告会

**Evaluation Criteria** 受講姿勢 20%, 報告書 40%, プレゼンテーション 40%の割合で評価し 60%以上を合格とする。

**Textbook** 第1回目の授業で指示する。

**Reference** 適宜配布する。

**Contents** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215753>

**Student** Able to be taken by only specified class(es)

**Contact**

⇒ 西野(M618, 656-7357, nishino@me.tokushima-u.ac.jp)

**Note** 自分の興味がある機械技術テーマに関するルーツを自主的に調査する課題です。調査報告書とプレゼンテーションの両方を評価します。